

イチャオシ!

M OVIE

『闇の列車、光の旅』

ホンジュラスからアメリカを目指して列車に乗り込んだ少女サイラと、列車を襲ったギャングの一味でありながら仲間を裏切り彼女の命を救ったメキシコ人のカスペル。移民がひしめく列車で運命的な出会いを果たした2人が、共にアメリカを目指す姿を描く作品。ギャング組織の中でしか生きられなかった青年と、彼に恋心を抱く純粋な少女が、信頼関係を築きながら必死に生き抜こうと奮闘する様子は、見る者に深い感動を呼び起こす。監督は本作のためにギャングと移民に直接取材し、実際に列車の屋根に乗り移民の旅のルートをとどめた。その経験が、ギャング組織の実態や不法移民の現状など、中南米の“闇”の部分を実際に再現している。



©2008 Focus Features LLC. All Rights Reserved.

2009年／アメリカ・メキシコ／96分
監督：キャリー・ジョージ・フクナガ
出演：パウリーナ・ガイタン、エドガー・フロレス
公開：6月19日(土)よりTOHOシネマズ シャンテほか全国順次ロードショー
URL：www.yami-hikari.com/

E VENT

企画展「日本の生物多様性とその保全」

—生き物たちのバランスの中に生きる—

地球上には3,000万種ともいわれる生物が存在するが、環境汚染などが原因でその種類は年々減少。日本では3割もの動植物が絶滅の危機に瀕している。この企画展では、テントウムシのように身近な生物からトキなど絶滅危惧種まで、多様な生き物の種類や特徴を学べる。生き物が置かれた環境や保全への取り組みも紹介。

会期：7月19日(月)まで 9時～17時(金曜は20時まで)
会場：国立科学博物館(東京・上野)
入場料：一般・大学生600円、高校生以下無料
休館日：毎週月曜日(7月19日は開館)
問：ハローダイヤル
TEL：03-5777-8600
Email：webmaster@kahaku.go.jp
URL：www.kahaku.go.jp/

B OOK

『カンボジア 子どもたちとつくる未来 写真で見る国際協力の30年』

1980年、国民の3分の1が命を落としたカンボジア内戦。そのさなか、ボランティアとしてタイ国境付近の難民キャンプを訪れた認定NPO法人「幼い難民を考える会」の設立者・いいぎりゆきさんは、栄養失調や不衛生な生活環境に苦しむ子どもたちの姿を目の当たりにする。その経験をきっかけに活動を始め、以来、「子ども一人ひとりが尊重され、安全に成長できる場をつくりたい」と、給食の提供や保育者の育成といった保育事業、母親たちの自立支援などに取り組んできた。不安定な情勢の中、現地の子ども、母親、そして地域の人々とともに歩んできた30年を、写真家・小林正典氏の写真とともに振り返る。



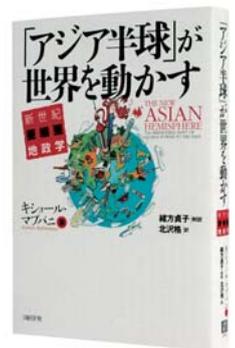
この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

認定NPO法人幼い難民を考える会 編
小林正典 写真
毎日新聞社
2,000円(税込)

B OOK

『「アジア半球」が世界を動かす』

中国、インド、ASEAN(東南アジア諸国連合)ー。グローバル化とともに相互関係を深めながら、著しい発展を遂げているアジアの国々。元シンガポール国連大使でもある著者は、歴史、文化、思想などの論点から、「なぜアジアの勢いが増すのか」を分析し、今後、世界の主役になるのはアジアだと予測する。一方で西欧には、「世界の基準が自分たちにあると考え、国外に目を向けていない」「このままでは衰退していく」と手厳しい。今、かつての“アジアのリーダー”としての存在感を急速に失っている日本。私たちはその現実をどのように受け止め、“新たな世界”とどうつながっていくべきだろうか。「一人でも多くの日本人に読んでほしい」と緒方貞子JICA理事長推薦の一冊。



この本を
1人の方に
プレゼント
詳細は
38ページへ

キショール・マブパニ 著／北沢格 訳／緒方貞子 解説
日経BP社
2,310円(税込)